

ゆりかご



Vol.32

令和2年9月発行



目次

- 新任医師紹介 P2
- 特集！認定看護師について P3～P6
- トピックス P7～P11
 - 1. 小児科講演会 P7
 - 2. 石神康生九州大学大学院教授講演会 P7
 - 3. 第34回中津市民病院健康教室 P8
 - 4. 岐部千鶴大分中村病院看護部長講演会 P8
 - 5. 激励・応援メッセージをいただきました ... P9
 - 6. 寄付をいただきました P10～P11
 - 7. きれいなお花をいただきました P11
- 外来診療担当医表 P12

新任医師紹介

よろしく
お願いします!



今年度から当院に勤務する医師を紹介します。
(令和2年7月1日～)



消化器内科
安部 雄治 Dr. (あべ ゆうじ)

7月から赴任しました消化器内科の安部と申します。これまでは大分市内の病院で消化管疾患を主に診療してきました。微力ではありますが、県北の医療に貢献できるよう、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



産婦人科
徳光 隆一 Dr. (とくみつ りゅういち)

7月から赴任しました産婦人科の徳光と申します。6月まで大学病院に勤務していました。中津市民病院は県北の周産期の中心を担う施設であり、多くのお産に関わることかと思っております。安全にお産に臨めるよう精一杯サポートさせて頂けたらと思っております。よろしくお願いいたします。

特集『認定看護師について』

認定看護師とは、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有している看護師のことです。より良い看護を提供できるよう、特定の看護分野ごとの専門性を発揮しながら、認定看護師の3つの役割『実践・指導・相談』を果たして、看護の質の向上に努めます。

当院には、6分野、計9名の認定看護師がいます。日々、実践・指導・相談を行い、院内外での活動を行っております。

また、地域の方々のお役にたてればと思い、昨年地域看護・支援センター（完全予約制）を開設しました。患者さんやご家族のお悩みを伺い、医師などと連携しながら解決策を考えています。また、内容により、かかりつけ医や他の医療機関・介護施設等とも連携し、地域全体で患者さん・ご家族を支援しています。

看護職の方からの相談や研修依頼も受けています。ぜひご活用ください。

問い合わせ 22-2480（受付：平日10時～17時）

各看護分野と認定看護師自己紹介

●がん化学療法看護

がん化学療法看護とは、安心、安全、安楽な治療を提供することや、患者さんが安心して納得の上で社会生活と両立させて、治療を受けられるように支援します。また、医師より治療内容の提示を受け、患者さん自身が治療方針を選択する意思決定支援をサポートする重要な役割も行います。



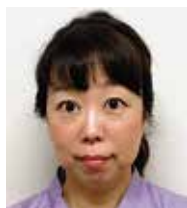
●筒井 美帆 ●

2018年にかん化学療法看護認定看護師の資格を取得しました。当院では、外来で年間に延べ2500件以上の治療を実践しております。点滴単独の治療と、経口抗がん剤併用の治療と内容も複雑です。また、免疫チェックポイント阻害剤を投与されている患者さんも多く、免疫有害事象を早期に発見するために多職種で連携することが重要になります。

私が、化学療法に興味を持ち、資格取得を目指したきっかけは、がん患者さんにもっとできることはないか、副作用のことをきかれても十分サポートができないことが悩みでした。スキルアップを目指し、学習することで、幅広くまた多職種連携の重要性を学びました。

がんと診断され、治療が必要になる患者さんは2人に1人と言われており、がん治療の集学的治療において、化学療法は重要な役割を占めています。年齢層も幅広く、仕事を続けながら治療を継続される方もたくさんおられます。治療を生活の一部として考え、副作用対策や苦痛を最小限にコントロールできる手助けや一緒に添っていける役割を目指したいと思っています。

「生きる希望」患者さんが、納得した治療の選択、継続した看護ができるように、今後も自己研鑽を忘れないよう努力したいと思います。



●伊藤 智子 ●

2011年にかん化学療法看護認定看護師の資格を取得しました。2019年8月より当院に勤務し、現在、患者サポート課に所属しております。がんと診断された時や治療などつらい体験が少しでも軽減でき、日常生活を送りながら治療を継続できるように療養支援に携わっています。

抗がん剤治療を受けている患者さんが、副作用に注意しながら仕事に復帰できたことや、家族旅行に参加したことを笑顔で語っていただきました。お話を聞くことで、その人らしい社会生活が維持できるように支援することに、仕事のやりがいや喜びを感じています。

今後も患者さんの在宅での生活を支え、安心して治療を受けることができるように多職種と協働しながらチーム医療に取り組んでいきます。

● 感染管理

感染管理とは、医療施設や地域における感染のリスクを低減するため、医療に携わる1人1人が、根拠に基づいた正しい感染対策を実施できるよう感染対策活動を導く事が役割です。

日々、発展を続ける医療環境の中で、医療に関連した感染のコントロールは病院における大きな課題となっています。地域の医療機関や院内の多職種と連携して包括的かつ実践的に感染管理を行い、安全な病院環境を提供していきます。



● 磯崎 慎吾 ●

2019年に感染管理認定看護師の資格を取得しました。資格取得前は小児病棟で長く勤務をしていました。小児科は全ての処置やケアに複数の医療従事者の接触が不可欠であり、児を感染から守るためには、感染対策が重要となってきます。しかし、手指衛生の実施や個人防護具の使用状況に課題があるのが現状でした。職員の感染対策の認識を高め、行動変容を起こす事は難しいです。しかしこのコロナ時代に、感染管理認定看護師として専門的知識・技術をもとに指導や実践を行い、職員の感染に対する認識を向上させ、手指衛生の実施や個人防護具を使用する事が当たり前となるような文化を作っていきたいと考えています。



● 辛島 正信 ●

2012年に病院の支援を受けて感染管理認定看護師の資格を取得しました。2015年から5年間は専従感染管理担当者として病院全体の感染管理を行い、2020年4月からは外来師長となり外来で勤務しています。専従での感染管理は行っていませんが、外来部門で現場での感染対策を実践・指導しています。

外来には、地域看護・支援センターが開設されており、地域の患者さんや看護職等からの相談も受けています。もし、感染対策に関するお悩みや相談がありましたら、気軽にご連絡ください。

● がん性疼痛看護

がん性疼痛看護認定看護師は、がんの痛みがなぜ起こるのかについて詳しく学び、痛みの治療に使われる薬の正しい使い方や副作用に関する知識を持っています。その知識を活用し、痛みに苦しむ患者さんやご家族の相談相手となり、薬の使い方や生活の工夫についてアドバイスを行っています。



● 中岡 美幸 ●

私は2015年にがん性疼痛看護認定看護師の資格を取得し、現在は外来で勤務しています。当院は、がん診療連携拠点病院の認定を受けており、日々多くのがん患者さんが来院されますが、治療のどの過程においても、「痛み」という身体の苦痛は患者さんの不安を増大させます。しかし、自分の痛みについて上手く表現できる方は多くありません。そのような患者さんや生活を共にしているご家族のサポートを行い、一人でも多くの方が痛みから解放され、自分らしい生活が送れるようにサポートしていきたいと思えます。



●緩和ケア

緩和ケアとは、重い病気を抱える患者さんやそのご家族一人一人の身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケアです。病気の早期から適応され治療と並行して行われます。また、大切な方とお別れしたご家族にも提供されるケアです。

そのようなケアを提供できるためには様々なつらさを総合的に捉え、適切なケアを提供できる看護実践力を持ち、共にケアを担う看護職に対して指導や相談に応じる役割も認定看護師にあります。専門的緩和ケアを提供する看護師として、技術や知識の習得と維持に努めていく姿勢を持ち得なければならないと考えます。



● 徳永亜希子 ●

2018年に緩和ケア認定看護師の資格を取得し、2019年の緩和ケアセンターの開設と同時に当センターへ異動となりました。2020年より緩和ケアチームを兼任させていただいています。まだまだ発展途上にありますが、周囲の皆さんに支えていただきながら、患者さんやご家族に関わらせていただいています。緩和ケアの中でも特に興味関心があるのはエンドオブライフ・ケアと家族ケアです。

ケアの対象となる方々を知り、教えていただき、人の持つ力を信じ、その人がその人らしく最期を全うできるように努めていきたいと思えます。

●認知症看護

認知症看護は、人が最期まで人としていかに生きるべきであるかという問に向かい合うことです。対象は認知症者本人のみでなく、その家族となります。特に急性期病院では認知症者やその家族が望む治療を安全な環境で提供できるように看護実践を行うこと、また他の職員に対して指導することが役割となります。

認知症については偏見も根強く、急性期病院ではせん妄を発症したり、積極的な治療が受けられないことがある等の課題が山積している状況です。地域の方々が認知症になっても安心して入院できる病院であるよう、多職種と連携して認知症対応力の向上を図っていきます。



● 松本 幸子 ●

2019年に認知症看護認定看護師の資格を取得しました。人口の高齢化に伴い認知症高齢者の数が増大しています。認知症が話題になることも増えましたが、知識不足や偏見から不要な身体抑制を行ってしまったり、必要な治療を提供できないといった状況が当院でもありました。認知症高齢者とその家族が必要な治療を受けられる病院、安心して入院できる病院となるように職員の認知症対応力を向上させていきたいと考えています。



●糖尿病看護

糖尿病看護では、糖尿病をもつ方が「生活者」として、生涯にわたり自己管理ができるよう糖尿病の各病期において、身体的・心理的・社会的側面から包括的に患者様を理解・アセスメントし、その方の生涯を見据えた目標を患者様とともに設定し、問題解決のための支援を行います。また、糖尿病患者様および家族や重要他者、集団に対して糖尿病の発症予防のために必要な指導・教育を行うとともに、糖尿病看護に従事する看護職者に対しての指導、相談を行うことで、相談者自身が問題解決の方向を見いだせるよう支援します。



●尾家 亜紀●

私は、病院からの支援のもと2019年に糖尿病看護認定看護師の資格を取得しました。主に外来で活動しております。

糖尿病をもつ方やそのご家族に対して、療養生活や治療に関する相談・支援・血糖パターンマネジメントやフットケアを行っています。その中で大切にしていることは、患者さんの力を信じ、患者さんのセルフケア能力を引き出す関わりです。患者さんおひとりおひとりに寄り添い、糖尿病治療に携わる医療従事者と協働し、生活の質の向上のために努めて参りますので、糖尿病に関することでお困り事があればご相談ください。



●永松 清香●

2013年に糖尿病看護認定看護師の資格を取得しました。2020年4月より当院の地域包括ケア病棟で勤務しております。地域の糖尿病患者さん及びご家族へ糖尿病療養支援ができるよう頑張ります。また、地域の医療者へ糖尿病看護について普及活動ができればと考えております。

頭痛・めまい外来のお知らせ

頭痛やめまいなどの症状を感じると、「**脳卒中になるのではないか？**」「**頭の中に脳腫瘍ができていないか？**」とご心配になる方もおられると思います。

当院脳神経外科では、**令和2年7月より毎週火曜日に頭痛・めまい外来を開設しています。**この専門外来では、まず症状に関するお話を伺い、必要な場合にはできるだけ来院当日に画像検査（CT・MRI等）ができるように撮影枠を取っています。

詳しくは、脳神経外科受付のスタッフや看護師にお尋ね下さい。



※当日、MRI検査まで希望される方は事前に予約が必要です。

脳神経外科部長 古賀 広道

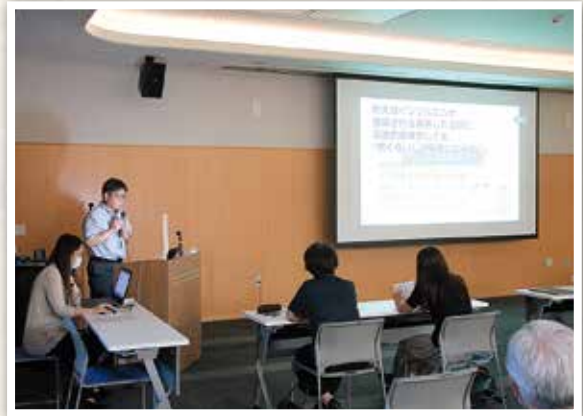
小児科講演会

令和2年7月31日（金）、当院の是松聖悟副院長による小児科講演会を多目的ホール及び講堂にて行いました。

今回は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、多目的ホールの座席を少なくし、別会場として当院講堂でも映像上映しました。また、ZOOM（WEB会議ツール）による配信も行いました。その結果、当院会場での聴講者約100名、ZOOMによる聴講者が全国各地から約100名と盛況となりました。

講演会は「～ウィズコロナの時代～学校、幼稚園、保育所、職場、家庭での感染予防はどうしたら良いのだろう？」と題し、各シーンで正しい感染予防についてクイズ形式で行われました。

講演会の内容は、YouTubeでも配信しておりますので、学校、幼稚園、保育所等の関係者の方々にご聴講いただければと思います。（<https://www.youtube.com/watch?v=5jX-KLLyduS>）



石神康生九州大学大学院教授講演会

令和2年8月7日（金）、九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学分野の石神康生教授による講演会が多目的ホールにて行われました。

講演会は、「I. 放射線科医としてのこれまでの取り組みとこれからの取り組み」、「II. 画像解剖の視点からみた病変の進展経路」の二部構成で行われ、石神先生のこれまでの経験談が多く織り込まれたもので、とても興味深いお話でした。講演会の後は、質疑応答も行われ、職員の関心の高さがうかがえました。



第34回中津市民病院健康教室

令和2年8月22日（土）10時より中津市民病院2階講堂において、当院呼吸器外科部長の福山康朗医師による「肺の病気について」と題した健康教室を開催し、中津市内をはじめ近隣市町村の市民の方々に参加を頂きました。当日は、3密を避けるために席の間隔を保つなどの対策を行い、実施致しました。

講演では肺がんや肺気腫、世界的に流行している新型コロナウイルス感染症についての話がありました。肺がんの治療として、ノーベル賞受賞で話題となった免疫チェックポイント阻害剤について、薬剤の効果や治療のしくみなどイラスト等を使っての説明があり、参加者からも理解が深まったとの感想が聞かれました。

また、参加者からは新型コロナウイルス感染症の予防についての質問があり、現時点で有効な治療法が見つからないことから「かからないようにすること」が大切であること、3密を避けることが重要であることを再認識しました。

当日は中津ケーブルテレビの取材があり、後日「中津ふるさとTV」で放送予定となっています。また、過去の健康教室の内容を収録した「中津ふるさとTV」のDVDが小幡記念図書館で貸し出されており、YouTubeでは動画配信も行われております。是非ご覧ください。



岐部千鶴大分中村病院看護部長講演会

令和2年8月31日（月）、大分中村病院の岐部看護部長をお招きし、「コンフリクト・マネジメントの視点で考えるクレーム対応～メディエーションマインドを理解する～」と題し、講演をしていただきました。

岐部看護部長は、大分大学医学部附属病院で看護部長を務められた経験も踏まえ、医療現場におけるクレーム対応において、メディエーターの存在が患者側・医療側それぞれの意見を引き出し、対話の促進を図ることで合意形成を得ることができるとお話されておりました。また、クレームとは病院にとって大事な宝であり、改善することで患者にとって良い病院にすることができるというところはなるほどそのとおりだと感心させられました。今後の仕事に活かすことができる貴重な講演会となりました。



※コンフリクト… 相反する意見、態度、要求などが存在し、緊張状態が生じること。対立、軋轢（goo辞書）

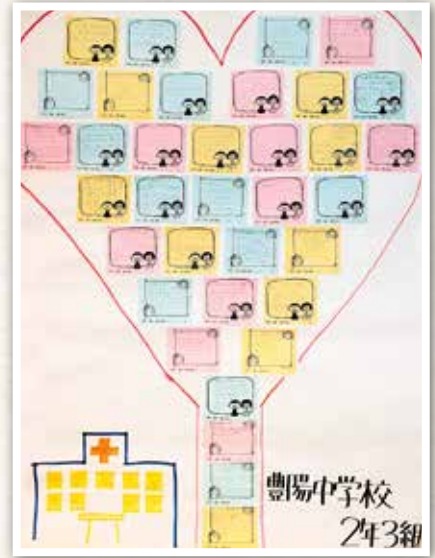
※医療メディエーション…患者側と医療者側の対話を促進することをとおして互いの齟齬の予防、調整を支援する関係調整モデル

豊陽中学校の皆さんから激励メッセージをいただきました！

令和2年7月3日（金）、豊陽中学校2年生の皆さんから、新型コロナウイルスに対する当院医療従事者への激励メッセージをいただきました。メッセージには「自分も新型コロナに感染するかもしれないのに患者さんを診てくれてありがとう」、「差別や偏見を受けることがあるかもしれないけど戦ってくれて感謝しています」、「皆さんの頑張りに少しでも応えられるよう、自分たちも手洗い、うがい、三密を避けるといったことをしていきたい」といったことが書かれていました。

メッセージは院内に掲示され、多くの職員がその内容に勇気づけられています。豊陽中学校2年生の皆さん、本当にありがとうございます！

※表紙写真にメッセージ授与写真掲載



中津支援学校の皆さんから応援メッセージをいただきました！

令和2年8月25日（火）、医療従事者に感謝の気持ちを伝えたいと、中津支援学校の生徒さんから「コロナに負けずがんばってください！」と応援メッセージをいただきました。

心温まるメッセージや可愛いイラストに職員一同とても癒されています！



あたたかい寄付をいただきました！

令和2年4月21日（火）、当院の入院患者さんのために、匿名の市民の方から手作りの布マスクをいただきました。マスクの入手が難しい状況が続いていた中で、このように温かい手書きメッセージ付きで寄付していただいたことは、患者さんの力になることはもちろん、職員一同にとっても励みになりました。いただいた布マスクは、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



あたたかい寄付をいただきました！

中津沖代ライオンズクラブ

令和2年6月30日（火）、中津沖代ライオンズクラブ会長の深邊昭二氏より、中津市民病院の小児医療などに役立ててくださいと寄付金をいただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



あたたかい寄付をいただきました！

豊前薪クラブ

令和2年8月11日（火）、豊前薪クラブの皆様より、コロナ禍で不安と闘いながら働いている中津市民病院のスタッフにと、日本みつばちのハチミツ350本の寄贈がありました。お心遣い、ありがとうございます。

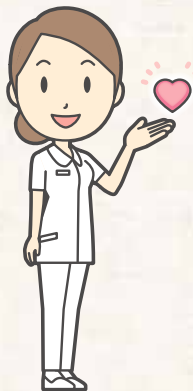


「看護の日」にきれいなお花をいただきました！

5月12日が「看護の日※」ということで、当院の看護師あてに匿名の方よりたくさんのお花をいただきました。お心遣いいただきありがとうございます。

5月10日～16日は看護週間となっております。皆で看護の心、助け合いの心を育みましょう。

※近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました。



外来診療担当医表

※非常勤医師については、記載していません。

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科		小路 高史	久米 治	富來 公一	小路 高史 久米 治	富來 公一
消化器内科		大森 薫 横田 昌樹	末廣 侑大 大森 薫	梅野 成大 和田亜由美	梅野 成大 末廣 侑大	横田 昌樹 安部 雄治
糖尿病内科		岡田 淳子 (新患のみ)	岡田 淳子 (再診のみ)	岡田 淳子 (再診のみ)	岡田 淳子 (再診のみ)	
血液内科		池田 元彦	池田 元彦	池田 元彦		池田 元彦
神経内科		太田 浄文		太田 浄文		太田 浄文
腎臓内科		青木 宏平	古寺 紀博	古寺 紀博	青木 宏平	青木 宏平
小児科		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
小児外科						担当医
脳神経外科		古賀 広道	古賀 広道 (午後手術)	古賀 広道		古賀 広道
消化器外科		甲斐成一郎 中村 駿	折田 博之 永田 茂行	折田 博之 甲斐成一郎 中村 駿	折田 博之 永田 茂行	甲斐成一郎
呼吸器外科			福山 康朗 辛島 高志			福山 康朗 辛島 高志
乳腺外科		永松 敏子		永松 敏子	永松 敏子	
心臓血管外科		木村 龍範 嶋岡 徹		木村 龍範 嶋岡 徹	木村 龍範 (再診のみ)	木村 龍範 嶋岡 徹 (午前手術) (午後予約のみ)
泌尿器科		岩淵 直人 元 貴彦	岩淵 直人 元 貴彦		岩淵 直人 元 貴彦	岩淵 直人 元 貴彦 (午後手術)
産婦人科		松本 治伸 佐藤 新平 徳光 隆一	松本 治伸 佐藤 新平 森田 泰介		佐藤 新平 森田 泰介 徳光 隆一	松本 治伸 森田 泰介 徳光 隆一
放射線科		日高 啓 筒井聡一郎 下村悠太郎	日高 啓 筒井聡一郎 下村悠太郎	日高 啓 筒井聡一郎 下村悠太郎	日高 啓 筒井聡一郎 下村悠太郎	日高 啓 筒井聡一郎 下村悠太郎
歯科口腔外科		高橋 喜浩	高橋 喜浩 (新患のみ)	高橋 喜浩	高橋 喜浩 (再診のみ)	高橋 喜浩
緩和ケア外来(予約のみ)				福山 康朗		

※整形外科・耳鼻いんこう科はしばらく休診します。

外来診療案内

受付時間:午前8:30~午前11:00

休診日:土曜日・日曜日・祝日

年末年始(12月29日~1月3日)

※救急の患者さんや予約の患者さんは、上記時間外でも対応させていただきます。

表紙…豊陽中学校2年生激励メッセージ

詳細については、9ページにて紹介しております。
ご覧ください。

面会時間

平日:午後1時~午後7時

土・日・祝日:午前11時~午後7時

面会時のお願い

- 当院では、患者さんご面会の皆様のために面会室を用意しています。お気軽にご利用ください。
- 入院している患者さんの安静や診療の妨げにならないよう、決められた時間内をお願いします。
- 大勢の面会は、患者さんの安静の妨げになりますのでご遠慮ください。また、お子様は感染防止のうえからも特別な場合を除いてご遠慮ください。
- 病状によっては面会をお断りする場合があります。一日も早く回復していただくためご協力ください。



中津市立 中津市民病院

〒871-8511 大分県中津市大字下池永173番地
TEL:0979-22-2480(代表) FAX:0979-22-2481(代表)

中津市民病院 ゆりかご 検索